

## 新入社員プロジェクト 最終報告

### 【活動概要と過程】

昨年度より新入社員の研修の一環として、SDG s プロジェクトとして SDG s の活動を行っています。今年度の新入社員は毎日届く郵便物の切手に目をつけ、活動を行いました。

毎日届く多くの郵便物の切手は、ごみとして捨てられているのが現状でした。そこで、古切手を回収しアートを作り、再利用につなげるとともに、それをSDG s マークの貼り絵にすることで社内外でのSDG s についての認知の獲得、アピールにもつながると考えました。

活動を進めるにあたって、様々な問題がありました。まず、古切手の確保です。1.7m×1.2mの大きさのアートを作るに際して、5000枚の古切手が必要だという試算をたてましたが、思うように初めは集まりませんでした。そこで、本社だけでなく、全国にある支店や営業所にも協力していただき、12月までに目標枚数である5000枚を達成することができました。

また、出張等業務の都合でなかなか全員集まれないことも問題でした。そこで、メールでのやり取りを強化し、各自が近況を報告しながら活動を進めていくことで、うまく活動を進めることができました。課題解決の中で、日常の業務でも大切なことを学ぶことができました。

多くの方の協力のおかげで、当初想定していたものよりも立派なものを完成させることができましたと思います。

### 【完成品について（社会福祉協議会）】

完成品は半田市の社会福祉協議会に短時間ではありますが掲示していただきました。社会福祉協議会では古切手を集めてしおりなどの作品に形を変えて販売するという活動を行っているそうです。既に古切手を有効活用している団体があるということを知り、興味を持ったため、作品と余った古切手をもって訪問させていただきました。

社会福祉協議会では古切手の活動だけでなく、多様な福祉ニーズに応えるため高齢者への配食サービスやホームヘルプサービス等を行っていると聞きました。

また、障がい者の方が普段どのような不便を感じながら生活しているかの体験会を行うなどしており、様々な創意工夫の詰まった活動で半田市の福祉を支えている団体なのだと感じることができました。

その中で、我々新入社員が行った活動を知っていただき、作品を掲示させていただいたことはSDG s 活動のアピールにつなげることができたと感じています。

### 【完成品について（グループホーム）】

社会福祉協議会での掲示を短時間にさせていただいたのは、グループホームに掲示してもらいたいという新入社員の思いがあったことも理由の一つです。

常滑市にある障がい者グループホーム「グランエミシスりんくう常滑駅前」には、瀧上不動産が建設した施設ということもあり取材をさせていただきました。

取材を通して障がい者グループホームの現状と課題を学ばせていただき、需要があるものの人手不足で対応できていないことを知りました。今後SDGsを進めていくうえで、力を入れていくべき問題だと感じ、SDGsマークの掲示をお願いする運びとなりました。

取材を受けてくださったエナジীর野口様に贈呈しました。我々新入社員の作品を快く受け取ってくださり、大変うれしく感じました。

### 【振り返り】

活動を通して、新社員は様々なことを経験し、学ばせていただきました。

SDGsについて学び理解を深め、大切さを知ることができたのも一つです。

小さなことでもSDGs達成につながります。我々が何をできるのか考え、日々の業務に邁進していきます。

また、様々な課題を新社員同士で意見を出し合い解決していく過程の中で日常の業務でも大切なことも多く学ぶことができました。

活動の中で、新社員の絆が深まったことも良かったことです。それぞれ違う部署の所属ですが、これからも新社員同士で協力し合い互いに成長していきたいと思えます。

最後に今回の活動において切手収集に協力してくださった社員の方々、取材に応じてくださった方々に感謝いたします。

新社員一同



作成状況



発表状況



社会福祉協議会贈呈

グループホーム全景

社内掲示ポスター →

